



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

工業用水 企業団 北茨城市 だけでも 1億4千万円の支出

9月26日、高萩・北茨城
広域工業用水道企業団の平
成20年度第2回定例会議が
開催されました。審議案件
は、①資金不足比率の報告、
②19年度事業会計決算の認
定の2件です。

資金不足比率とは、財政

健全化法にもとづいて今年
度から審査・報告が義務づ
けられたもので、事業規模
に対する資金不足額の比率
で算定されます。この比率
が20%を超えると「経営健
全化団体」（黄色信号）とさ
れ、国から改善計画の提出

を求められます。

今回、監査委員から提出
された審査結果は「該当な
し」で、比率不足はまった
くないというものでした。

報告内容について福田明
議員は「北茨城市からだけ
でも年間に1億4千万円、
高萩市を含めると2億円以
上も支出しなければ経営で
きないのが実態である。あ
まりにも経営実態とかけ
離れた審査結果では
ないか」と発言。

企業長(豊田北茨城市
長)は「指摘はそのとお



解散間近

いつ衆議院の解散、総選挙になってもおかしくない状況です。
日本共産党市議団は連日、街頭から「自公政権の異常な『大企業
中心』『アメリカいいなり』の政治の転換をめざす日本共産党の
前進を」と訴えています。



規律訓練

女性消防団の発足(10/4)を控えての訓練です。



第26回市美術文芸展覧会

北茨城市文化協会が、
ふれあいセンターで美術文
芸展覧会を開催(5日まで)。
絵画や彫刻、陶芸、写真、

書、そして俳句や短歌、郷
土史研究など見ごたえのあ
る作品展示です。

り。しかし、両市から支出
すると企業会計の帳簿上は
資金不足なしとならざるを
えない」と答弁しました。

また、福田議員は高萩地
区の工業団地の売却状況を
副企業長(草間高萩市長)に
質問。草間市長は「9区画
中8区画が売却済みであり、
今後、工場が立地・操業さ
れるよう力をつくしたい」と
述べました。

企業団の現状は工業用水
の契約水量が計画の44・5
%にとどまり、未売水によ
る収入不足から累積欠損金
は約13億6千万円を超え、
依然としてきびしい状況で
す。他の議員からも「両市
負担分に対する県の補助を
要請すべきである」などの
意見も出されました。

今年の夏休みの終わりの土曜
日、市ふれあいセンターでシン
ポジウムが開かれました。題し
て『北茨城の森林生物そして
人々20年間の研究から』。主
催は関本町小川地区と、独立行
政法人・森林総合研究所です。
林野庁の外郭団体としてあつ
た森林総合研究所では、小
川地区に入って、森林の植
生の変遷、昆虫や動物、鳥
類などの生態、人々の歴史
と暮らしなどを20年間にわ
たって研究してきました。

この研究成果を、長年お世
話になってきたお礼も兼ね、
地元の方たちに伝えたいと
開かれたものです。

北茨城市は、暖帯と寒帯
との間に位置し、阿武隈山
系の南限にあることから、
植生などが豊かであること
は私も聞いていたつもりで
した。それが今回のシンポ
ジウムで、あらためて小川地区
が、県内はもとより国内でも優
れて多くの動植物をみることに
できる場所だと教わりました。

豊富なデータを、表や多くの
写真で提示して、専門知識がな
くてもよくわかる説明でした。
いわゆる絶滅危惧種もいくつか

北茨城市議会議員 鈴木やす子 森のシンポジウムから



見ることができると聞くと、
好奇心もくすぐられ、とて
も興味深かったです。

当日、子どもたちの参加
が少なかつたのが残念で、
出がけに声をかけただけの
息子もぜひ連れてくるべき
だったと反省しきり。もち
ろん、大人たちにも知って
ほしい内容でした。観光の
一環としても、また近年叫
ばれている環境問題でも、
まさに生きている教材です。

ガイドブックの作成やボラン
ティアの養成も含め、マナーを
もって体験学習ができるとい
いなど感じました。この豊かな自
然の宝をぜひ郷土の誇りとし
て位置づけられるようにしてい
きたいものです。